ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島

過去の活動（２００７・２００８年）

2008年10月4日　**第２回　「ピンクリボンdeサンフレッチェ」開催**
場所：広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）（現　エディオンスタジアム広島）

Ｊ１復帰を果たしたサンフレッチェの祝賀ムードに包まれる広島ビックアーチで、第２回目の“ピンクリボンdeサンフレッチェ”が開催されました。
安田大学学生と観戦にきた子どもたち総勢約７０人で、選手のサインの入った横断幕を持って行進。乳がん早期発見のための検診受診を、多くの若い人たちへ呼びかけました。

ブースでは協賛グッズを販売。サンフレのポストカードやピンクリボンタオル、乳がんの啓発冊子などをセットにし、カルビーのポテトチップをつけて、サイン入りのＴシャツや色紙、試合球など盛りだくさんの景品が当たるくじ付きで販売しました。空くじなしとあって大人気、長蛇の列ができました。

紫戦士「ピンク」に協力

乳がん予防　横断幕にサイン

J2サンフレッチェ広島の選手たちが二日、乳がんの早期発見と治療を呼び掛けるピンクリボンキャンペーン活動に協力した。安芸高田市の吉田サッカー公園で、安田女子大生たちの手作りの横断幕にサインをした。

サンフレッチェ、広島東洋カープ、広島交響楽団でつくる「P3 HIROSHIMA」の社会貢献活動の一環。ミハイロ・ペトロビッチ監督(50)や日本代表の佐藤寿人選手(26)たちが参加した。

「ピンクリボンサポーター」と書かれた縦一㍍、横五㍍のピンクの横断幕に、選手たちのサインが並んだ。

四日にある広島ビッグアーチでのJ2湘南ベルマーレ戦に掲揚され、PR活動もある。佐藤寿選手は「女性が早期発見しやすい環境のサポートになれば」と話していた。（菊本圭）

ピンクの横断幕にサインするMF高柳一誠選手㊥

サンフレッチェ広島とのコラボレーションでは、企画の段階から安田女子大学の学生たちがボランティアで参画しています。彼女たちが創った「ピンクリボンサポーターになろう」というキャッチフレーズは、ビックアーチに集まる人々を起点に、広く受け継がれていくことでしょう。世代を超えてのキャンペーン効果が大いに期待されます（上右写真：中国新聞掲載記事）。
また、今回の新しい話題として、広島もみじライオンズクラブより、若い層を対象とした「乳がんエコー検診」の無料受診のご協賛をいただきました。
☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。

- 株式会社サンフレッチェ広島
- カルビー株式会社
- ＪＯＩＮ広島
- 新庄みそ株式会社
- オタフクソース株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- 広島もみじライオンズクラブ
- 株式会社フレスタ
- 株式会社モルテン

2008年6月7日　第２回　「ピンクリボンdeカープ」開催

場所：広島市民球場（広島市中区基町）（現　旧広島市民球場跡地）

2010年に閉鎖された旧広島市民球場での開催はこれが最後となりました第2回目の“ピンクリボンdeカープ”。
この日のカープ選手たちは、ユニフォームにピンクリボンワッペンをつけて試合に臨みました。
乳がん体験者から公募した始球式投手には、32歳会社員の方が抽選で選ばれました。「現在治療中の人にも、元気なわたしを見てほしい。少しでも励みになればと思い応募しました。また、20代、30代の若い人も関心を持って」と笑顔でコメント。場内は大きな声援に包まれました。また、始球式の抽選にはずれた方たちは、5回裏の安田女子大学学生たちの応援パフォーマンスに参加しました。

またマンモグラフィ検診車を市民球場前に設置。野球観戦のついでに気軽に検診が受けれると今年も大人気でした。今回のボランティアは160名が参加。それぞれの持ち場にわかれて準備から片付けまで汗を流して頑張りました。皆さんお疲れさまでした。

☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。
・株式会社広島東洋カープ
・カルビー株式会社
・ＪＯＩＮ広島
・ＧＥ横河メディカルシステム株式会社
・新庄みそ株式会社
・オタフクソース株式会社
・富士フイルムメディカル株式会社
・株式会社サンモール

2008年2月1日　第１回　「ピンクリボンde広響」開催

演奏：広島交響楽団（指揮／ヴァイオリン：エヴァルド・ダネル）
場所：広島厚生年金会館（広島市中区加古町）（現　広島市文化交流会館）

2007年度のピンクリボンキャンペーンin広島の締めくくりとして、「P3　HIROSHIMA」とのコラボ第3弾となる“ピンクリボンde広響”が広島厚生年金会館で行われました。楽団の譜面台にピンクリボンを付け、1,500人のお客様へＰＲしました。スロバキア室内オーケストラ音楽監督のエワルド・ダネル氏による「四季」のバイオリン演奏で幕を開けた会場は、軽やかな演奏に一足早い春の香りに包まれました。ピンクリボン実行委員会では、協賛ペアチケットを抽選で50組の方へ特別料金で販売し、希望者へマンモグラフィ検診をプレゼントしました。

情報提供、啓発展示コーナーではカープとサンフレッチェとのジョイントもＰＲ。そして厚生年金会館前へマンモグラフィ搭載の検診車を設置し協賛チケット購入の方で希望者の中から20名を抽選しました。また、広島オリジナルのピンクリボンバッジ、ピンクリボンタオルなども販売。売上は活動資金に活用させていただきます。なお、グッズ売上に協力いただいた中から希望者へはマンモグラフィ検診の割引券を差し上げました（協力：財団法人広島県健康福祉センター・財団法人広島県集団検診協会）。

乳がんは大変な勢いで増加しています。日本では社会や家庭で大切な役目を担う30～50代女性の死亡原因第一位の疾患です。乳がん対策の決め手は、早期発見・早期治療です。定期的な検診の大切さをしっていただき、受診しやすい環境づくりを進める活動を続けています。
☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。
・公益社団法人ひろしま交響楽協会　・カルビー株式会社　・新庄みそ株式会社
・オタフクソース株式会社

2008年10月4日　第１回　「ピンクリボンdeサンフレッチェ」開催

場所：広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）（現　エディオンスタジアム広島）

晴天に恵まれたこの日、広島３大プロ「P3　HIROSHIMA」とのコラボレーション第２弾、"ピンクリボンｄｅサンフレッチェ"を広島ビッグアーチで行いました。
今回のキャンペーンの特徴は、安田女子大学の若い皆さんのアイディアと工夫あふれる楽しい企画で盛り上がったことです。「二十歳を過ぎたらブレストケア！」と大いに乳がん早期発見をアピールしました。選手もオフィシャルスーツの襟元に広島オリジナル　"ピンクリボンバッチ"を着用してキャンペーンを盛り上げてくれました。

多くの人で賑わった販売ブースでは、空クジなしのオリジナルグッズがあっという間に売り切れ。
マンモグラフィ検診車では３０代から７０代まで約７０名の方が検診を受診しました。
また、応援席ではピンクのタオルを振って声援を送り、スタンドでもひときわ目立っていました。ハーフタイムには、選手のサイン入りの横断幕を持って、後ろにはピンクの旗を振る子どもたちと行進。乳がん早期発見のキャンペーンを元気良く繰り広げました。そしてお楽しみ啓発グッズも発売！　ピンクタオル、カルビーのお菓子、サンフレッチェグッズ、くじのセットなども人気でした。

乳がんは大変な勢いで増加しています。日本では社会や家庭の中核を担う30代から50代の女性たちの、死亡原因第一位の疾患です。乳がん対策の決め手は、早期発見・早期治療です。検診の定期的な受診の大切さを知っていただき、受診しやすい環境づくりを進める活動を「ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンｉｎ広島」は続けています。あなたとあなたの大切な人のために…。
☆協賛企業の皆さま、ご協力に感謝します。
・株式会社サンフレッチェ広島　・カルビー株式会社　・新庄みそ株式会社

2007年5月19日　第２回　「ピンクリボンdeカープ」開催

場所：広島市民球場（広島市中区基町）（現　旧広島市民球場跡地）

５月の青空のもと、選手も応援席も一緒になって乳がん早期発見キャンペーンを展開しました。ピンクリボンキャンペーンｉｎ広島実行委員会事務局のNPO未来・井上理事長は、アメリカの大リーグでの取り組みにヒントを得て、ぜひ日本でも球団とのコラボをカープと一緒に行いたい、球場に来てくれた方に１人でも多くこの活動を知ってもらい、周りの人にマンモグラフィ検診を受けてね、と話題にしてほしい、という目的で、"ピンクリボンdeカープ"を開催することにしました。開催場所は現役時代の広島市民球場（広島市中区基町）です。

女優の宮崎ますみさんによる始球式でスタートし、外野席では約５０００人の参加者がピンクのタオルを掲げたり、ピンクの風船を飛ばしたりと、観客参加型のキャンペーンを繰り広げました。

マンモグラフィ搭載検診車が２台を設置し、広島県健康福祉センターと集団検診協会のご協力により抽選で１００名の方へ無料で検診を受けていただきました。
広島市民球場の応援席ははこの日、ピンク一色に染まり、それは美しい光景でした。メディアを通じてより多くの人にブレストケアの重要性をアピールできたことと思います。

☆協賛企業の皆さま、ご協力に感謝します。

- ・株式会社広島東洋カープ
- ・カルビー株式会社
- ・ＪＯＩＮ広島株式会社
- ・生協ひろしま
- ・中村ブレイス株式会社
- ・ＧＥ横河メディカルシステム株式会社
- ・新庄みそ株式会社
- ・オタフクソース株式会社
- ・中国醸造株式会社
- ・貞光食糧工業有限会社

2007年2月4日　第３回　ランチョンセミナー開催

テーマ：「乳がんとＱＯＬ＝おいしいランチとおはなし」

基調講演１　講師：福田　護さん（聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科教授、ＮＰＯ法人乳房健康研究会副理事長）
基調講演２　講師：丸田俊彦さん（米国メイヨ・クリニック医科大学精神科名誉教授、慶応義塾大学精神神経科客員教授、放送大学客員教授、東京大学大学院人文社会系研究科客員教授）
場所：リーガロイヤルホテル広島　４Ｆロイヤルホール（広島市中区）

ランチョンセミナーは2005年、乳がん患者さんの治療中や病後のケアで重要な食事の問題を考え、学ぶ機会として取り組みました。食のテーマは予防という観点においても、人が一生を通じてかかわる身近なテーマであり、大変な反響が寄せられました。今回、第２回目となるランチョンセミナーを開催し、患者さんやその家族をはじめ、支え合う人たちとともに、体に良い食材を使ったおいしい料理をいただきながら、乳がんやメンタルケアへの理解を深め充実したひとときを過ごすことができました。わくわくするような心の中の宝を、きっとみつけて帰られたことでしょう。

基調講演の第一部では福田護先生による「乳がんと食事・栄養〜予防と治療に関して」と題してのお話しです。日本のピンクリボン活動の先駆者として、全国で活躍されている福田先生。乳がんの予防、治療中、術後とステージにあわせた食事や栄養を考えていくお話は、患者さんはもとより、健康を願うすべての人たちにとって大変興味深いものでした。第二部の基調講演は丸田俊彦先生の「オプティミズムとエンジェル〜心の中の宝探し」。世界的な精神科医の第一人者である丸田先生が、米国メイヨ・クリニックで研究されたオプティミズム（楽観主義）と生活のクオリティの関係など、わかりやすくお話くださいました。

二部に分かれた基調講演の間のランチタイムでは、管理栄養士さんのレシピで、リーガロイヤルホテル・シェフが腕をふるったランチメニューの説明のほか、体にやさしい日常の食事のレシピなども紹介していただきました（協力：社団法人広島県栄養士会）。

そして、ランチョンセミナー終了後には、来広されたまたとないこの機会にと、特別にサイコセラピー講義をしていただきました。テーマは「間主観的なかかわりあい〜現代精神分析の最先端」。深く精神療法を問い直す丸田先生の歩みが、世界の最先端の臨床の場でのお仕事となって実を結んできたことは、たくさんのご著書から知られています。臨床心理士、医療・教育・福祉領域専門職など、心のケアの仕事に携わっておられる方、臨床心理学専攻大学院生をはじめとする学生の皆さんが主に参加され、サイコセラピー練習帳やビデオを使っての講義を熱心に受けておられました。